

## 本学会で行っている臨床疫学研究

本学会では、多発性骨髄腫の臨床病態や予後を明らかにし、今後の治療戦略の確立に寄与することを目的として臨床研究を行っています。これらの研究は「ヘルシンキ宣言」、「個人情報保護に関する法律」、「疫学研究に関する倫理指針」などのガイドラインに従って行われ、本学会の臨床研究委員会で科学的・倫理的妥当性が審査され承認を得たものです。本学会の参加施設に受診された患者様のデータを使用させていただきますが、その際は個人情報の保護に十分配慮し、匿名化処理によって個人が特定されない方法を用います。

個々の臨床研究の実施の有無につきましては参加施設にお問い合わせ頂き、データの使用に同意されない場合は下記までご連絡ください。仮に研究への協力をお断りになった場合も、診療において不利益を被ることはありません。

連絡先: 日本骨髄腫学会 事務局  
〒474-8511 愛知県大府市森岡町源吾 35  
独立行政法人 国立長寿医療センター 血液内科内  
e-mail: [jms-info@jms.gr.jp](mailto:jsm-info@jms.gr.jp)

### 【現在学会で対象となる共同研究】

- \* 多発性骨髄腫に関する多施設共同後方視的調査研究
- \* 原発性形質細胞白血病に関する多施設共同後方視的調査研究

対象：2001年1月1日から2012年12月31日までに参加施設を受診された症候性多発性骨髄腫（原発性形質細胞白血病を含む）患者

研究期間：2013年9月1日から2014年5月31日